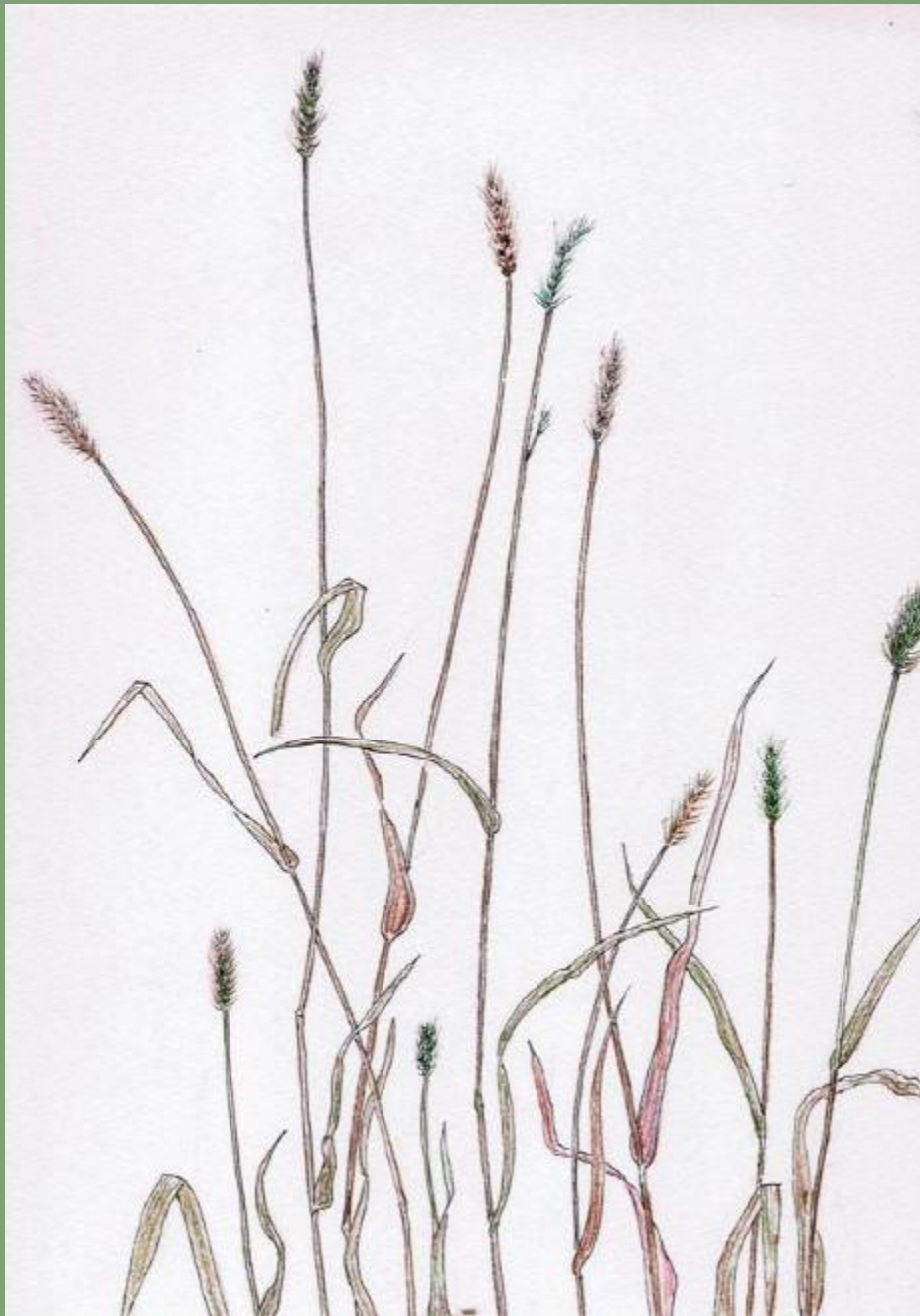


## 見沼田んぼ・野草スケッチ「キンエノコログサ：金狗尾草」

ネコジャラシ（猫じゃらし）

科名：、イネ科 エノコログサ属

花言葉 | 遊び 愛嬌（エノコログサでは）



P.S. 晩秋の路端に、夏場のエノコログサよりも丈が低く花序も小さく色もすんだ黄茶色をしたこの野草を見つけました。



15. 11. 24 見沼代用水東縁にて

原産地：—

生育地：荒地や野原など大型の植物の少ない場所に生育する1年草。  
縄文時代前半まではなく、日本にはアワ作とともにアワの雑草として伝わったものと推測される

茎：草丈は40センチ～80センチで、茎は叢生し基部の節で曲がりあまり分枝しない。

葉：葉は細長い線形で長さ15センチ～30センチ、幅5ミリ～8ミリ。  
葉は根元で表裏が返って伸びるのでツヤガがなく見える。

花期：8月～10月

花：花序は長さ3センチ～の円柱形で直立し、小穂は約3ミリで基部は黄金色の剛毛が密生する。

花色：

果実：エノコログサは、近代以前の農村では、飢饉の際にカラスムギなどと共にこれを食用としたこともあった。

名前の由来：名前もキンエノコロに似て小穂が小さいことから。花穂が、犬の尻尾に似ていることから、犬っころ草（いぬっころくさ）から、エノコログサ（狗尾草）になったと言われる。

記述は、キンエノコロ[www.geocities.jp/nisi175812/kinnenokorogusa0.htm](http://www.geocities.jp/nisi175812/kinnenokorogusa0.htm) と

Wikipedia のサイトを参考にさせていただきました。